



学校だより

5月号

令和5年4月28日

温かい空気で満たされています

校長 青木 和裕

梅の実が、日ごとに膨らみを増しています。いつもの年より、成長が早いようです。春の虫を探す子。花のスケッチをする子。自然園に落ちていた夏みかんをしげしげと見つめる子。ドッジボールやおにごっこをして、元気よく遊ぶ子どもと先生。生命が躍動する季節となりました。



4月19日に行われた、1年生を迎える会。4年ぶりに全校児童が体育館に集まり、同じ空間で、同じ空気を吸い、隣の人へのぬくもりを感じながら、会ができることの喜びを感じました。2年生から6年生まで、学校紹介の寸劇やクイズ、歌、リコーダー、手作りメダルのプレゼント。各学年ともに、心を一つにして、「ようこそ、二つ橋小学校へ」の温かい思いを、1年生に伝えることができました。お兄さん、お姉さんの発表を見つめる1年生の笑顔を見ていると、こちらまで自然と笑みがこぼれました。温かい時間を創り上げてくれた全校児童の皆さんに、感謝します。ありがとうございます。

そして、この学校全体の温かい空気を創り上げているのは、何といても6年生です。登校班での、後ろを歩く1年生のことをときどき見やりながら、歩く速さを調整している姿。牛乳パックの開け方や白衣のたたみ方を優しく教える姿。ほうきの使い方や雑巾の絞り方の手本を示しながら教える姿。この1か月で、6年生の顔つきが、りりしく、たくましく、そして笑顔が増えたように思います。1年生からの「ありがとう」が、6年生の幸せな学校生活につながっているようです。これから、ペア学年での交流、近隣の学校の児童・生徒との交流も始まります。二つ橋小の子どもたちが、多くの人との関わりの中で、さらに自尊感情を育ててほしいと願っています。